

関東身体障害者陸上競技協会

会報

第15号 2003年2月17日発行

協会事務局 〒222-0035 神奈川県横浜市港北区鳥山町1752
「横浜ラポール」内 小山 良隆
TEL 045-475-2050 FAX 045-475-2053



第16回 東京車いすマラソン大会より

都県便り・千葉県 合宿報告 世界選手権報告・結果
フェスピック報告・結果 五種競技について ドーピング講座 NPO バラエ
ティクラブジャパンジュニアレッスン風景 お知らせ 理事会議事録 アテネパ
ラリンピック標準記録 大会結果 編集後記

* 都県便り *

都県名：千葉県

代表者：須藤 健一

理事連絡先：須藤 健一

電話 090 - 8116 - 3257

活動内容

車椅子選手についての状況です。

現在は概ね毎週火・木曜日夜間と隔週土曜日午後に練習会を設定し、その日以外は個人での活動としています。

火・木曜は次回参加する大会によりトラック走の場合は江戸川区陸上競技場、ロードレース場合は千葉県総合運動場外周路と場所を使い分け、土曜は日本エアロビクスセンター（主にトラック走）にて練習しています。

最近は業務多忙等の理由により思うように練習に参加出来ない選手が続出。各選手個々の練習量が以前に比べ落ちているようで、それを補うべく練習メニューの見直し等、レベルアップの方法を模索中です。

また、他県と比べると選手層が薄いため、今後は新人選手（協会会員）の募集・育成が課題となっております。

（茨城県の都県便りを載せることが出来ませんでした。茨城の皆さんごめんなさい。次号ではお知らせできるようにしたいと思います。）

* 合宿報告 *

茨城県理事 大内 一成

1 期 日 平成14年9月21日（土）～23日（月） 2泊3日

2 会 場 筑波大学陸上競技場

宿泊：つくば研修センター、アーバンホテル

3 参加者 選手8名
スタッフ14名

4 協 力 筑波大学体育専門学群
後藤 邦夫 先生
西藤 宏司 先生
陸上競技部学生の皆さん



と、また茨城県のスポーツ指導員の協力にも深く感謝申し上げたい。

来年度の合宿は、今回参加していただいた選手はもちろん、地元茨城からの選手も集めて充実させていきたいと感じています。

* 世界選手権 報告 *

日身陸連 ナショナルチーム監督
三井利仁



みなさん、練習してますか？

さて昨年も色々ありましたが、何と言ってもIPC世界陸上競技選手権がビッグイベントでした。そこで大会の様相と現状を簡単に報告しますね。

4年に1度の世界選手権はパラリンピックへの各国の参加枠の確保の為に、かなり大切な大会です。当然、世界選手権ですから当たり前なんですけど、どうしてもパラリンピックに目が行ってしまいがちですが、陸上競技選手なら世界選手権も同じくらいのウエイトを持っています。

今回の大会で感じたことは、中国が確実に2008年に向けて選手強化をしてきているのが、エントリー人数と成績でわかりました。女子選手もかなりいましたし、今まであまり見なかった車椅子ランナーもかなり見ました。日本もアジアの日本じゃなくなりました。

アテネに向けては、2003年がトライアルの年です。その気のある方はかなりのトレーニングが必要です。しっかり調整して標準記録を突破しましょう。多分、2月くらいには標準記録がはっきりするんじゃないでしょうか。では。

選手名	EVENT	CLASS	記録	備考
荒井 のり子	100m	T34	19 88	銀メダル
	200m	T34	37 79	銀メダル
今井 裕二	LJ	F11	5m02	
	TJ	F11	11m51	6位入賞
植田 政徳	200m	T51	45 68	銅メダル
加藤 有希	100m	T36	15 84	銅メダル
	200m	T36	35 13	5位入賞
河野 和輝	J	F35	26m99	5位入賞
古城 暁博	100m	T42	14 14	6位入賞
	200m	T42	29 04	8位入賞
小谷 謙二	100m	T42	14 21	7位入賞
	200m	T42	27 52	銀メダル
	LJ	F42	5m08	銀メダル
齋藤 晃司	100m	T11	12 18	準決勝敗退
	200m	T11	25 14	1次予選敗退
鈴木 徹	HJ	F44	1m80	5位入賞
	J	F44	36m07	
高田 稔浩	400m	T53	65 55	準決勝敗退
	1500m	T54	4 01 45	1次予選敗退
	5000m	T52	13 55 28	
	5000m	T54	13 19 78	準決勝敗退
	マラソン	T54	1 ^h 56 05	
土田 和歌子	800m	T54	2 05 16	8位入賞
	1500m	T54	3 46 18	4位入賞
	5000m	T54	13 28 85	4位入賞
中嶋 嘉津子	D	F37 / 38	16m11	
	S	F37 / 38	7m28	
二宮 尚寛	1500m	T46	4 24 65	準決勝敗退
花岡 伸和	1500m	T54	3 20 11	準決勝敗退
	5000m	T54	11 27 05	準決勝敗退
	マラソン	T54	1 ^h 33 37	
廣道 純	800m	T53	1 48 35	銅メダル
	1500m	T54	3 23 13	1次予選敗退
	5000m	T54	11 15 17	7位入賞
福原 良英	10000m	T11	36 52 92	6位入賞
	マラソン	T11	2 ^h 55 44	銀メダル
保科 清	マラソン	T12	3 ^h 10 47	4位入賞
要田 美紀	100m	T52	22 61	銀メダル
	200m	T52	42 15	銀メダル
	400m	T52	80 33	銀メダル
	800m	T52	3 05 31	銅メダル
二宮、古城 小谷、鈴木	4 x 100mR	T42-46	51 49	5位入賞



日本初！切断のリレーチーム

* フェスピック釜山大会に参加して *

陸上監督 輿石善輝
(山梨県理事)

2002(第8回)釜山フェスピック競技大会は、韓国釜山市で10月26日から11月1日までの6日間にわたり競技が行われました。今回の釜山フェスピック競技大会での陸上チームのメダル獲得数は、金・11、銀・6、銅・10の合計27個(内世界新記録が2)でした。いつものことながら国際大会のアバウトな大会運営に振り回された大会ではありましたが、陸上チームとしては、コーチ陣と選手の協力もあり特に大きな問題もなく無事に大会を終了することができました。

発展途上国の多いアジアの大会で、前回のバンコク大会のように義足の選手や整備されていない車いすに乗って参加している選手などは少なくなり、前回開催国のタイ、ホスト国の韓国、次回開催国のマレーシア、北京パラを視野に入れている中国といった国が選手強化をしていることもあり、4年前より競技レベルは遙かに高くなっていました。

今回の陸上チームは、選手選考・スタッフの決定から大会まで短い準備期間でありましたが、日本陸連としてお金がない中で大会や合宿にスタッフが出向いていき、選手を把握し、コミュニケーションを取っておけたことは大きかったと思います。特に筑波大での関東合宿に廣田会長をはじめ関東のスタッフ陣の理解と配慮の中、フェスピック組が参加させていただけたことも準備段階としては大きな成果でした。結果的に選手村での生活や競技に関するところまで大きな問題もなく大会を終了することができました。

また、競技の結果は結果として、ほとんどの選手が国際大会未経験者であり、慣れない環境の中にもかかわらず、どの選手もチームに協力的でした。自分の競技が終了してもスタッフに気を遣う選手や他の選手の練習まで面倒を見てくれるなど、監督としてこれだけ選手に助けられた大会もなかったのではないかと思います。ムードメーカーの大勢待さん、そして金子さん、本当にありがとうございました。また、他のコーチ陣と選

手に本当に感謝したいと思います。

最後にクラス分け委員の指宿さん、TDの三井さん、また、本来は総務付きでしたがメカニックとして陸上のスタッフと協力していただいたOXの小沢さん、色々ありがとうございました。力不足の監督が、皆様のおかげで無事にフェスピックを乗り越えることができました。

そして、今年はいよいよアテネに向けての予選会の年、フェスピック代表組と関東陸協の選手のさらなる活躍と熱い戦いを期待したいと思います。

氏名	クラス	種目	記録	備考
大勢待茂男	T 1 2	J a v l i n	4 1 m 4 2	銅メダル
金子順治	F 4 4	1 0 0 m	1 3 5 7	8位
長澤麻子	T 5 4	1 5 0 0 m	4 5 2 7 1	銅メダル
内田勝久	F 1 1	T R I ・ J U N P	1 0 m 2 6	銀メダル
大勢待茂男	F 1 2	D I S C U S	2 9 m 0 4	4位
金子順治	T 4 4	2 0 0 m	2 7 8 6	5位
柿谷愛子	F 1 2	S H O T P U T	7 m 3 3	銀メダル
佐藤京子	F 3 2	C L U B	2 1 m 3 9	金メダル (NWR)
内田勝久	F 1 1	L G ・ J U N P	4 m 6 1	銅メダル
柿谷愛子	F 1 2	J A V E L I N	2 0 m 9 2	金メダル
長澤麻子	T 5 4	4 0 0 m	1 1 2 5 9	6位
長澤麻子	T 5 4	8 0 0 m	2 2 5 1 1	3位

* 五種競技 (ペンタスロン) って? *

東京都理事 藤田勝敏

平成14年9月に町田市陸上競技場で開催しました「第7回関東身体障害者陸上競技選手権大会」では、五種競技(ペンタスロン)を国内の大会では初めて実施しました。パラリンピックや世界選手権大会などの国際大会では実施されている種目ですが、国内の大会では実施されていないため派遣対象にならない種目となっていました。今回の大会では、参加者数も少なく、単独種目の中に五種競技(ペンタスロン)のそれぞれの種目を組み入れたため、種目順がルールとは違ってしまい参考記録となってしまいましたが、将来的な希望としては、五種競技(ペンタスロン)だけの大会を開催できるまでに競技人口が増え、そして国際大会に、五種競技(ペンタスロン)の代表選手が選出されることを願いたいと思います。

五種競技(ペンタスロン)とは、次ページの表の5種目を種目1から種目5の順番に1日で行いそれぞれの種目の記録を点数に換算し、トータル点数で順位を決める種目で

す。五つの種目を一日で行う体力的な要素と、五つの異なった種目をこなす技術的な要素が必要となり、陸上競技の中でも比較的難しい種目の一つと言えるかもしれません。

クラス	種目1	種目2	種目3	種目4	種目5
P11	走幅跳	やり投	100m	円盤投	1500m
P12	走幅跳	やり投	100m	円盤投	1500m
P13	走幅跳	やり投	100m	円盤投	1500m
P42	走幅跳	砲丸投	やり投	円盤投	走高跳
P44	走幅跳	砲丸投	100m	円盤投	400m
P51	100m	こん棒投	400m	円盤投	800m
P52	砲丸投	やり投	100m	円盤投	800m
P53	砲丸投	やり投	100m	円盤投	800m
P54	砲丸投	やり投	200m	円盤投	1500m
P55	砲丸投	やり投	200m	円盤投	1500m
P56	砲丸投	やり投	200m	円盤投	1500m
P57	砲丸投	やり投	200m	円盤投	1500m
P58	砲丸投	やり投	200m	円盤投	1500m

* ドーピングと アンチドーピングについて *

埼玉県理事 塚越和巳

平成15年1月25日(土)、さいたま市で第12回日本車いすスポーツ研究集会が開催されました。23題の発表演題に加え、赤間高雄先生と草野修輔先生によるアンチドーピングに関する講演が行われました。障害者スポーツでもドーピング?と思うのが一般の方の印象ではないでしょうか。しかし現実には健常者スポーツとそう変わらないことを改めて認識しました。障害者スポーツが競技スポーツとして発展しているうれしくない証明でもありますね。

ところでドーピングとはいったどんなことなのでしょう? IOCのホームページより引用しましたので簡単に紹介します。(http://www.joc.or.jp/anti_doping/)

【ドーピングとは】ドーピングとは競技能力を高めるために薬物などを使用することであり、ルールで禁止されています。実際には、リストで表示された禁止薬物などを使用することがドーピングに当たり、尿検査で禁止物質が検出されると処罰されます。ドーピングの意図がなく、治療目的で禁止物質を使用しても処罰されますので注意が必要です。

ルールは知っていなければならないし、ルールは守らなければならないものです。

【ドーピングが禁止される理由】

1) スポーツのフェアプレーの精神に反する

薬物を使用することは公正な競争を損ね、フェアプレーの精神に反します。また、スポーツが薬物に汚染されることは、スポーツの社会的価値を損ねることになります。

2) ドーピングは社会悪になる

ドーピングで勝利を得ることができるとしたら、それはルール違反を認めることになります。スポーツ、特に多くの人が見るオリンピックなどの大きな舞台では、それがまかりとおるようなことがあれば、社会にもたらす影響ははかりしれないものになります。スポーツの価値自体もおとしめられ、スポーツをやろう、見ようという人もいなくなるかもしれません。

また社会への悪影響ということでは、ドーピングのために使われるくすりの乱用にもつながります。実際に、欧米ではスポーツを目的にしないでも、有名選手のようなカッコイイからだになりたいとくすりをのむ青少年の問題があげられています。薬物乱用自体が違法行為であるだけでなく、場合によっては、くすりほしさに罪を犯すということもあるでしょう。ドーピングが社会悪につながるというのはそういうことなのです。

3) ドーピングは選手の健康を害する

ドーピングの代表的な方法は「くすり」をのむことです（その他、禁止されている「方法や操作」もあります。）よく知られているのは筋肉増強剤（正確には蛋白同化剤）や興奮剤ですが、摂取したくすりを早く体外に出すための利尿剤も禁止されています。これらは、本来はれっきとした「くすり」です。つまり、病気を治すために開発された薬剤なのですが、その効果を競技力向上のために使うのがドーピングです。くすりが悪いのではなく、くすりの「悪用」というわけです。

そしてそこに大きな問題があります。くすりには病気を治す効果もありますが、一方で副作用という歓迎できない“効果”もあります。加えて、ドーピングのためにくすりを使用する場合は、通常の10倍、50倍、あるいは100倍という量が使われることもあります。筋力や持久力など競技力向上につながる部分はあっても、その反面からだへの害も大きいのです。ドーピングが原因で、選手生命どころか生命そのものを失ってしまったり、さまざまな後遺症に悩む例が数多く報告されています。選手のからだを守る意味でも、アンチ・ドーピング運動を進めていかなければならないのです。

以上が、IOCのホームページから引用させていただいた内容です。ドーピングについて理解していただいたでしょうか？ドーピングがなぜ禁止されているのか理解することはそう難しくないと思います。それでは次に、禁止されている薬物やその方法について説明します。詳しい禁止薬物等の説明は末巻の資料を参考にしてください。なお、(財)日本アンチ・ドーピング機構（Japan Anti-Doping Agency, JADA）のHPは現在工事中が多いですが、薬物名を入力すると答えが表示されるようなデータベースをアップすることです。

【禁止薬物】

1) 興奮剤

中枢神経を刺激して敏捷性や敵愾心・競争力を高め、疲労感を低減する作用を持ちま

す。しかし、正常な判断力を失わせ、競技相手に危害を与えたり、転倒事故を引き起こす可能性があります。興奮剤の中には、覚せい剤取締法で規制されている「アンフェタミンとその関連物質」の他、かぜ薬等の市販薬に含まれている「エフェドリン」や「カフェイン」、喘息の治療に用いられる「2-刺激剤」も含まれます。

禁止薬物と禁止方法の種類

禁止薬物	A) 興奮剤 B) 麻薬 C) 蛋白同化剤 1) アンドロゲニック・アナボリック・ステロイド (男性ホルモン作用蛋白同化ステロイド) 2) 非ステロイド蛋白同化剤 D) 利尿剤 E) ペプチド・ホルモンおよび類似化合物
禁止方法	A) 血液ド - ピング B) 薬学的、化学的または物理的操作
ある種の制限を受ける物質の種類	A) マリファナ B) 局所麻酔薬 C) コルチコステロイド (副腎皮質ホルモン)

2) 麻薬

治療中のけがやスポ - ツ傷害による激しい痛みを和らげる作用を持ちますが、傷害をさらに悪化させる可能性があります。また、判断力を鈍らせ、技術向上の妨げになる他、身体的にも精神的にも依存性が強く、医学的にも社会的にも使用が規制されている薬物です。

3) 蛋白同化剤

いわゆる筋肉増強剤と呼ばれる薬剤で、筋力を強めたり筋肉の量を増やすこと、及び闘争心を高めることを目的に使用されます。

蛋白同化剤は、

1. アンドロゲニック・アナボリック・ステロイド
(男性ホルモン作用蛋白同化ステロイド)
2. 非ステロイド蛋白同化剤

に大別されます。有酸素性パワ - や有酸素性能力を上昇させる作用はなく、がんや心臓血管系・内分泌系・心理面への有害作用、催奇形性など、重い副作用が多いです。また、これらの副作用に対する治療方法が確立されていないことも大きな問題になっています。

4) 利尿剤

尿量を増加させることにより、使用した禁止薬物やその代謝物の尿中濃度を相対的に低下させたり、使用した痕跡を隠蔽 (マスキング) することを目的に使用されます。また、体重別種目がある場合には、急速な体重減少のためにも使用されています。

5) ペプチド・ホルモンおよび類似化合物

体の中に存在する筋肉増強作用を持つホルモンの分泌を刺激するホルモン剤や、蛋白同化剤以外の筋肉増強作用を持つホルモン剤、赤血球を増加させる作用があるホルモン剤等の使用が禁止されています。

【禁止方法】

1) 血液ド - ピング

競技者に血液やその成分の一部、または血液製剤を投与することで、主に血液の酸素運搬能を向上させ、全身持久力を高めることを目的に使用されます。競技者自身の血液

tを使用する場合と、他人の血液を使用する場合がありますが、この方法は心臓循環器系に大きな負荷をかけると同時に、他人の血液を使用する場合には輸血にともなうアレルギー - 症状や、肝炎・AIDSなどの感染症の危険性を含んでいます。

2) 薬学的、化学的または物理的操作

禁止薬物の腎臓からの排泄を遅らせる薬物を使用したり、他人の尿と取り替えるなど、尿に不正な操作を加えることが禁止されています。

【ある種の制限を受ける物質の種類】

使用可能なものもあるが、使用方法が競技規則で限定されていて、使用するには医師の診断書が必要な薬物です。局所麻酔薬や、喘息や花粉症（アレルギー - 性鼻炎）の治療薬などが含まれています。

さて、障害者スポーツでは、ドーピングはどのように扱われているのでしょうか。2000年に開催されたシドニーパラリンピックで、IPCはドーピングに対する明確な姿勢を示しました。11選手にドーピングが発覚した中で、金メダルの剥奪、世界記録の無効、さらに2004年のアテネ大会を含む4年間の出場停止処分が科せられる選手もいました。「抜き打ち検査が機能している証拠で、薬物一掃への意気込みを選手にも示している」とIPC会長は当時コメントしています。ちなみに、パワーリフティングの選手が使用した薬物は、筋肉を増強するステロイド剤と他の薬物の使用を隠す効果がある利尿剤でした。

2002年のソルトレーク冬季パラリンピックでは、ノルディックスキー男子で2つの金メダルを獲得したドイツのトーマス・エールスナー（31）が、ドーピング検査で陽性反応を示し、メダルを剥奪されました。結果として新田選手が3位に繰り上げられ日本人のメダル獲得1号となったので記憶に新しいところです。

このような状況を受け、（財）日本障害者スポーツ協会は、2002年6月に（財）日本アンチ・ドーピング機構（Japan Anti-Doping Agency, JADA）に加盟しました。そして協会内にはアンチ・ドーピング活動を推進していくために新たにアンチ・ドーピング部会も設立されました。

研究会でも報告されましたが、第8回フェスピック大会に出場した日本人選手を対象に使用薬物に関するアンケート調査が実施されたようです。140名の回答者のうち、薬物使用者は46人、禁止薬物使用者は6/46人、条件付きの薬物使用者が1/46人であったと報告されました（正確な数字は協会に確認してください）。常用薬に禁止薬物がさほど含まれていなかった印象と、サプリメントを使用している選手が52/140人、半数が脊髄損傷者であったことが記憶に残っています（曖昧ですが・・・）。競技への意識が高まるにつれ、サプリメントの使用も増加すると考えられますが、外国製のサプリメントに見られるように、成分表示が明確でないものの使用には十分な注意が必要と思われます。2003年1月24日付けのYomiuri On-Lineニュースで、日本アンチドーピング機構（JADA）は、体に安全でドーピング（禁止薬物使用）にならない成分で作られたスポーツドリンクやサプリメントに公式ロゴマークを使用できるようにするスポンサーシップ制度を開始すると報道されました。今後はこういったロゴマークも参考になりそうです。

さて、みなさんは Boosting（ブースティング）という言葉をご存じですか？ 障害者特

有のドーピングとして、IPCは、Boostingに警告を促しています（たしかシドニーパラリンピック）。ブースティングは脊髄損傷者で下肢が麻痺している陸上の車いす選手が、一部で実施しているとされる手法です。選手は尿管カテーテルを一時的に閉めて膀胱を尿で膨張させるなどの方法で、アドレナリンの分泌を促進させます。アドレナリンは、心臓からの血液流量を高める作用があるため、一時的な薬物使用と似た効果をもたらすともいわれています。しかし、血圧の急激な上昇など、脳血管障害を併発し、死亡する場合もある大変恐ろしいドーピングです。

なお、障害者スポーツでは、一般のドーピング規約に違反する薬物であっても、健康を維持するために不可欠であると判断されれば、事前申請によって使用を認められる場合がほとんどであると言われていています。また障害者スポーツ協会では、常時ドーピングに関する相談を受けています。自分の服用している薬が何なのか？サプリメントに問題はないか？この機会にぜひ確認してみたいかがでしょうか（もちろん自分で確認することが大事です）。

最後に、ドーピング、アンチドーピングに関係するサイトおよび書籍について紹介します。日頃から薬やサプリメントに対する意識を高め競技生活をおくっていきましょう。

関連サイト

世界アンチドーピング機構（WADA）

http://213.250.93.184/asiakas/003/wada_english.nsf/Home?OpenPage

日本アンチドーピング機構（2003.2.1 現在、工事中が多いです）

<http://www.anti-doping.or.jp/>

オリンピックムーブメントアンチ・ドーピング規程 別表 A

禁止物質の種類と禁止方法（2001年9月1日版）

http://www.joc.or.jp/anti_doping/ioc/main.html

日本体育協会

http://www.japan-sports.or.jp/project/spoken4_1.html

三菱化学 BCL（アジアではじめての IOC 認定ドーピング分析機関）

<http://www.mbcl.co.jp/data/doping/02.html>

日本テニス協会（使用可能薬リストがあります）

<http://www.tennis.or.jp/Jta/index.htm>

日本自転車競技連盟のアンチドーピングサイト（薬の紹介はかなり詳しいです）

http://www.jcf.or.jp/jp2/anti_doping/index.html

関連書籍

ドーピングの社会学 近代競技スポーツの臨界点

ベッテ 著 シマンク 著 木村 真知子 訳 2001/06 ¥2,800 不昧堂出版

ドーピング スポーツの底辺に広がる恐怖の薬物

高橋 正人 著 立木 幸敏 著 河野 俊彦 著 2000/08 ¥750 講談社

新・ドーピングってなに？

日本水泳連盟 編著 1996 ¥485 ブックハウス・エイチディ

ドーピングの現状・現実を語る

岡田 晃・黒田 善雄 編 1990 ¥1,000 ブックハウス・エイチディ
クリーンアスリートをめざして

日本陸上競技連盟 / 編 2001年07月 ¥800 創文企画
スポーツ・エルゴジェニック 限界突破のための栄養・サプリメント戦略
メルビン・ウィリアムス / 著 樋口満 / 監訳 杉浦克己 / 訳 奈良典子 / 訳
山口英裕 / 訳 2000年08月 ¥2,600 大修館書店

* 第16回東京車いすマラソン大会 NPO バラエティクラブジャパンによる ジュニアレッスン風景*

平成14年12月1日(日)第16回東京車いすマラソン大会において、NPOバラエティクラブジャパンによるジュニア対象車椅子マラソンレッスンが行われました。陸上競技やレーサーは初めてといった初心者からレース経験のある子供まで多くのジュニアが参加し、日本を代表するトップアスリートから指導を受けることができました。今回はボランティアとして、参加した2名の方にレッスン内容をご紹介します。(レッスンはレベル別にノービス、ミドル、アッパーの3班に分かれて行われています。)

ミドルクラス

理学療法士 小磯さおり

レベル別に3つに分けられたグループのうち、ミドルクラスでは実際にレーサーに乗車し、和智浩、前場一也、渡辺敏貴、各選手によるフォームチェックや千葉雅昭氏によるコースパターン別の走行アドバイスなどが行われました。

ローラーを使用時のフォームチェックでは、以下のようなアドバイスがありました。

・ハンドリムは握らずに内側を押し付けるように操作する。

・ハンドリムをプッシュした後、(ハンドリムを時計に見立て)6時方向でリリースする。

・ハンドリムをリリースした後は、出来るだけ力を抜き大きくフォロースルー(肩を伸展)する

フォロースルーが大きいほど、次



にハンドリムをプッシュする際に、加速度がつき、強い力をリムに伝えることが出来る。

・体幹の筋を働かせることが出来る場合は、(重心をシートに残したまま)フォロースルーすると同時に体幹を起こす(伸展させる)など実際の選手達からのアドバイスを受けながら、フォームチェックと実際の路上での走行練習を平行して行うことができ、レッスンを受けたジュニアの選手達にとっては大変良い経験となったと思います。

第16回東京車いすマラソン大会に参加して ～ジュニアレッスンとレースの様子を中心に～

東京都立光明養護学校 曾根裕二

東京車いすマラソン大会は、トップアスリートはもちろん、健常者の出場できる部門、ジュニア選手の部門など多くの選手に出場機会を与えるという意味でも意義のある大会の一つです。16回目を迎えた本大会が、今回よりジュニアの強化・育成等を視野に入れ、ジュニア選手対象のレッスン・2.5kmレース・5kmレースという新カテゴリーも設け、新たな試みを行なっています。

今回、本大会のジュニアレッスン、レースの補助を行なう機会を得たので、私見も含めて、報告いたします。



ジュニア対象レッスン

ノービス(初心者) ミドル(レース経験者) アッパー(トップクラス)の3つのカテゴリーに分かれてのレッスンで、NPO法人バラエティークラブ・ジャパンのスタッフ、現役選手、元選手が中心となり講習が行なわれました。

ノービスでは、軍手を用いたグローブ作りとレーサーへの試乗を行いました。講師の敵





氏は自らの競技経験を元に分かりやすく、初心者にも取り組みやすいような説明をしており、ジュニアの初心者にも分かりやすい内容でした。また、できるだけ保護者に補助を依頼し、家庭でも今回の講習内容が継続されるよう配慮がなされていたように感じます。

グローブ作りは軍手を用いて、各指にテーピングを巻き補強し、実際にハンドリムが当たる掌の部分も補強するという手順で製作しました。

「長い距離を走るとグローブ無しでは皮がむけたり、危なかったりする」「グローブは実

際に使いながら、徐々にテーピングを足したり、はずしたりしながら修正していく」「雨が降った時は、逆に滑りやすくなる可能性もある」など講師の実体験に基づく、より具体的なアドバイスが多かった。レーサーへの試乗(写真4)では、全員にマッチするレーサーは無いことを強調しつつも、微調整をすることで希望者全員が乗ることができた。選手個々によって乗り方や姿勢が違う」個人の体型やこぎ方に合わせて作ってあるので同じ物はない」「最初の1台は高価な新車より、安い中古を購入して自分のスタイルを確立していった方が望ましい」など、初心者が無理なく、レーサーに親しみが持てるような講義内容であったと思います。

また、車いすマラソンに直接関係はないが、「車いすマラソンは自己表現の一つの手段であり、それはバスケやテニスでも良いし、スポーツ以外の活動でも良い」など、技術的なことだけでなく、取り組む姿勢や考え方、その他生活全般にわたることまで、アドバイスがあり、選手本人にも保護者にも有意義な時間であったのではないのでしょうか。

レースについて

ハーフ、5km、2.5kmが時間差でスタートしました。ハーフは外周コース、5kmは内周2周半、2.5kmは内周1周半で行なわれました。5km、2.5kmはジュニアが中心のエントリーでした。レーサーでの出場者、健常者、ADL車での出場者、小学校低学年の児童など、レベル(速度)が様々で周回遅れも出るような状況で、ゴール付近では、周回を重ねる選手、ゴールする選手が混在してしまいました。コースを2つに分けて一方は周回用、もう一方はゴール用と設定していたようですが、選手の誘導が十分ではなく、危険を伴う場面が多かったように感じました。また、ゴールか周回か混乱



した選手も多かったようです。公園内の周回コースという特性上、今回のような危険、混乱は避け難いものかもしれないが、周回系の配置場所、審判員との連携、審判員への周回数を確認など再度検討が必要と思われました。また、選手や保護者に対しても、ゴール後は急停止せずにしばらく流すこと、コース内をむやみに横切らないことなど、事前説明等で徹底しておくことが必要だと思われまます。ジュニアの育成を担う重要な大会だからこそ、基本的な安全管理をしっかりと行ない、車いすマラソンを続けたいと選手に思わせるような大会になることを願っています。

公園内はアップダウンもあり、初心者やジュニアにとっては、やや難関コースだったかもしれませんが、トップレベルの選手と一緒に走ったり、指導を受けたり、同年代の選手と競い合うことができる貴重な時間を過ごせたことと思います。保護者や観客の声援の中で自らの力でゴールに向かう選手一人ひとりの競技への取り組みには敬意を表します。

その他

今回より、ジュニアの育成・強化という色合いの強くなった大会でした。運営上の課題はいくつかあり、改善、検討の余地はあると思いますが、選手には開会式での宣誓にもあったように「1分1秒でも速くゴールを駆け抜けたい」という気持ちを持ち続けながら取り組んでいって欲しい。また、そのような気持ちを育むことができる大会であって欲しいと思います。

お知らせ

1、平成15年度会員登録について

まもなく平成15年度会員登録を開始します。(2月中旬～下旬開始予定)登録有効期間は平成15年4月1日～平成16年3月31日です。

今年からネットバンキングやインターネットサービスを利用出来るように準備を進めている所です。今年アテネの選考の年！。多くの方が登録をされて、活躍されることを期待しています。

登録に関するお問い合わせは下記まで。(e-mailまたはFAXをお願いします)

登録事務局

埼玉県上尾市西貝塚148-1

埼玉県総合リハビリテーションセンター 理学療法科 杉山真理

TEL 048-781-2222 FAX 048-781-1552 e-mail qwq07213@nifty.com

2、アテネパラリンピック選手推薦大会について

平成14年12月23日付けの、日本身体障害者陸上競技連盟の通達文章によりまずと、国際パラリンピック委員会より、アテネパラリンピックの標準記録突破期間が、平成14年8月1日から平成16年5月頃(予定)と通知が届いたそうです。

それを受けまして、日本国内の標準記録突破指定大会が次のように示されています。

トラック・フィールド競技

- ・平成14年9月に開催された、関東選手権、ジャパンパラリンピック陸上大会
- ・平成15年と16年に行なわれる日本選手権、関東選手権、ジャパンパラリンピック、九州パラリンピック

車いすマラソン競技

- ・平成15年に行なわれるはまなす車いすマラソン大会（北海道）、全国車いすマラソン大会（北海道）、大分国際車いすマラソン大会（大分）

* 理事会議事録 *

平成14年度 第3回関東身体障害者陸上競技協会 議事録要約

日 時 : 平成14年9月28日(土)

場 所 : 東京都多摩障害者スポーツセンター

参加理事: 廣田常務、三井・土田(東京)、須藤(千葉)、山本・小山(神奈川)、井田(日身陸連)、塚越(埼玉)、杉山(事務局)

議題

1、東京車いすマラソン大会について

バラエティクラブジャパンと協力し、ジュニア選手のレッスンもあわせて企画。レースについては当初2.5k、5k、10kで予定していたが、ジュニア以外の選手の参加が見込めないとのことで、最終的には10kをハーフに変更することとなった。

レッスンの講師は主にハーフ出場の選手。関東身障陸協で声かけを。

グローブ作り講習は指導員協議会や学生ボランティアへ声かけを。

10/10～募集開始、10/31締め切りとする。

公文書(派遣依頼)が必要な方は小山まで連絡を！。

2、合宿報告(大内・別紙参照)

関東所属の選手+フェスピック代表選手参加で筑波大学グラウンドにて実施。関東身障陸協より8万の補助。

3、2003年 ジャパンパラリンピックについて

2003年 ジャパンパラリンピックは東京開催が決定!。町田の野津田陸上競技場で9月末～10月上旬の開催予定。主催 スポーツ協会、日身陸連協催 関東身障陸協の形になりそう。

パラリンピック前年度のため少しでも標準記録を突破させたい。そのため、予算の都合がつけば2日間開催・3種目エントリーとする。

最近のジャパラでは参加選手の減少が見受けられる。各県の理事には地元の選手の発掘と強化、大会参加を促すような働きかけをしてほしい。

4、ホームページ管理について

管理者 稲月さんと塚越（埼玉理事）の2人体制へ。

平成14年度 第4回関東身体障害者陸上競技協会 議事録要約

日時：平成14年11月8日（土）

場所：東京都多摩障害者スポーツセンター

参加理事：廣田会長、廣田常務、大内（茨城）、輿石（山梨）、小山（神奈川）、井田（日身陸連）、塚越（埼玉）、芦崎（監事）、栗原（事務局）

議題

1、ジャバラについて

関東の協会です。競技を関東で、式典などはスポ協です。やってもらいたい。

1日OR2日開催かは補助金の決定をまたないと確定しない。

今年はパラ前年なのでA標準を突破してもらうためには、2日開催で選手のコンディションを考慮する必要があります。

プレパラ年は関東です。受けていく方向も検討して欲しいとのこと。

日程は9月20日・21日（町田予定）

2、関東選手権について

色々なことを考慮し、関東選手権の日程を決定する。7月6日（町田）予定。

3、日産カップへの協力

今年は7月13日に決定。引き続き協力をしていく。神奈川理事小山・山本、東京理事三井を中心に。

4、東京車椅子マラソンについて

参加者決定。プロ入校中。

現在の進行状況についての説明と今後の任務分担について（小山）

* アテネパラリンピック標準記録 *

男子

EVENT	CLASS	Weights	A標準	B標準
High Jump	F42/44		F42 1.65m	F42 1.50m
			F44 1.85m	F44 1.70m
	F46		1.89m	1.65m
Long Jump	F11		5.90m	5.05m
	F12		6.50m	6.00m
	F13		6.40m	5.60m
	F36-38		F36 4.50m	F36 4.00m
			F37 5.50m	F37 5.00m
			F38 5.60m	F36 4.90m
	F42		4.80m	3.80m
F44		6.40m	5.75m	
F46		6.60m	5.90m	
Triple Jump	F11		11.80m	11.00m
	F12		13.90m	12.50m
	F46		13.25m	12.00m
Shot Put	F11	7.25kg	11.80m	10.00m
	F12/F13	7.25kg	13.20m	11.60m
	F32	2.00kg	6.00m	4.75m
	F33/34	3.00kg	F33 8.60m	F33 7.65m
		4.00kg	F34 9.50m	F34 8.50m
	F35	4.00kg	10.25m	9.55m
	F36	4.00kg	9.15m	7.40m
	F37	5.00kg	12.45m	10.65m
	F38	5.00kg	12.35m	10.40m
	F40	4.00kg	8.95m	6.70m
	F42	6.00kg	12.10m	10.00m
	F44/46	6.00kg	F44 13.65m	F44 12.20m
			F46 14.65m	F46 13.10m
	F52	2.00kg	7.40m	6.65m
	F53	3.00kg	7.10m	6.30m
	F54	4.00kg	8.25m	7.35m
	F55	4.00kg	9.75m	8.65m
	F56	4.00kg	9.80m	8.65m
	F57/58	4.00kg	F57 12.00m	F57 10.50m
		5.00kg	F58 13.10m	F58 11.60m
Discus Throw	F11/12	2.00kg	F11 37.00m	F11 33.20m
		2.00kg	F12 41.00m	F12 37.00m
	F13	2.00kg	40.00m	35.00m
	F32/51	1.00kg	F32 16.00m	F32 14.30m
		1.00kg	F51 7.90m	F51 7.10m
	F33/34	1.00kg	F33 24.35m	F33 21.65m
		1.00kg	F34 30.45m	F34 27.00m
	F35	1.00kg	36.75m	29.65m
	F36	1.00kg	33.50m	28.85m
	F37	1.00kg	45.00m	36.80m
	F38	1.50kg	33.2m	30.00m
	F42	1.50kg	42.50m	33.40m
	F44/46	1.50kg	F44 46.40m	F44 40.00m
		1.50kg	F46 46.20m	F46 39.90m
	F52	1.00kg	14.85m	13.20m
	F53	1.00kg	18.60m	16.50m
	F54	1.00kg	25.25m	22.50m
	F55	1.00kg	32.00m	28.50m
	F56	1.00kg	33.15m	29.50m
	F57	1.00kg	41.00m	36.50m
F58	1.00kg	48.55m	43.20m	
Javelin Throw	F11	800gm	32.00m	24.00m
	F12	800gm	47.50m	40.00m
	F13	800gm	49.00m	36.50m
	F35	600gm	37.00m	24.20m
	F36/37	600gm	F36 32.90m	F36 27.00m
		600gm	F37 41.90m	F37 35.00m
	F38	800gm	40.95m	37.55m
	F42	800gm	45.40m	39.40m
	F44/46	800gm	F44 49.50m	F44 41.70m
		800gm	F46 51.10m	F46 43.10m
	F52	600gm	14.40m	12.80m
	F53	600gm	17.25m	15.30m
	F54	600gm	23.50m	21.00m
	F55	600gm	26.30m	23.40m
	F56	600gm	28.80m	25.60m
	F57	600gm	34.00m	30.25m
F58	600gm	42.35m	37.65m	
Club Throw	F32/51	397gm	F32 26.00m	F32 23.65m
		397gm	F51 22.50m	F51 20.50m
Pentathlon	P13		2600pts	2400pts
	P44		4500pts	3200pts
	P54-58		4700pts	4300pts

女子

EVENT	CLASS	Weights	A標準	B標準
Long Jump	F11/12		F11 4.45m	F11 4.00m
			F12 4.65m	F12 4.15m
	F13		4.80m	4.00m
Shot Put	F42/44/46		F42 2.50m	F42 2.25m
			F44 3.55m	F44 3.15m
		F46 4.80m	F46 4.20m	
	F11/12	4.00kg	F11 7.70m	F11 6.90m
Discus Throw	F32-34/52/53	4.00kg	F12 10.50m	F12 9.40m
		2.00kg	F32 4.00m	F32 3.50m
	3.00kg	F33 4.70m	F33 4.20m	
	3.00kg	F34 6.80m	F32 6.00m	
	2.00kg	F52 3.00m	F52 2.65m	
	3.00kg	F53 5.20m	F53 4.55m	
	F35/36	3.00kg	F35 6.25m	F35 5.50m
		3.00kg	F36 7.05m	F36 6.50m
	F37/38	3.00kg	F37 8.30m	F37 7.20m
		3.00kg	F38 9.00m	F38 8.00m
F40	3.00kg	6.30m	5.20m	
F42-46	4.00kg	F42 6.60m	F42 5.75m	
	4.00kg	F44 9.45m	F44 8.25m	
	4.00kg	F46 9.95m	F46 8.70m	
F54	3.00kg	5.30m	4.70m	
F55	3.00kg	7.40m	6.60m	
F56-58	3.00kg	F56 7.00m	F56 6.00m	
	3.00kg	F57 7.30m	F57 6.50m	
	4.00kg	F58 8.00m	F58 7.20m	
Javelin Throw	F11-13	1.00kg	F11 28.90m	F11 25.80m
		1.00kg	F12 37.20m	F12 33.00m
		1.00kg	F13 37.20m	F13 33.00m
	F32-34/51-53	1.00kg	F32 8.00m	F32 7.00m
		1.00kg	F33 12.00m	F33 10.60m
		1.00kg	F34 18.00m	F34 16.00m
		1.00kg	F51 10.30m	F51 9.20m
		1.00kg	F52 7.20m	F52 6.40m
		1.00kg	F53 12.30m	F53 11.00m
	F35/36	1.00kg	F35 16.00m	F35 15.00m
1.00kg		F36 19.00m	F36 15.55m	
F37	1.00kg	21.30m	18.50m	
F38	1.00kg	23.00m	20.40m	
F40	0.75kg	17.95m	14.00m	
F42-46	1.00kg	F42 17.50m	F42 15.30m	
	1.00kg	F44 29.55m	F44 24.90m	
	1.00kg	F46 33.60m	F46 29.40m	
F54-56	1.00kg	F54 13.00m	F54 11.70m	
	1.00kg	F55 22.00m	F54 19.50m	
	1.00kg	F56 20.00m	F56 17.40m	
F57/58	1.00kg	F57 21.00m	F57 18.00m	
	1.00kg	F58 27.00m	F58 24.00m	
Pentathlon	F33/34/52/53	600gm	F33 9.30m	F33 8.20m
		600gm	F34 14.25m	F34 12.50m
		600gm	F36 32.90m	F36 27.00m
		600gm	F52 7.40m	F52 6.60m
		600gm	F53 6.50m	F53 6.00m
	F35/36	600gm	F35 16.10m	F35 14.00m
		600gm	F36 17.40m	F36 15.50m
	F37/38	600gm	F37 19.80m	F37 17.70m
		600gm	F38 20.80m	F38 18.40m
	F40	400gm	15.30m	10.70m
F42-46	600gm	F42 24.40m	F42 21.40m	
	600gm	F44 32.65m	F44 28.50m	
	600gm	F46 29.90m	F46 26.20m	
F54-56	600gm	F54 11.30m	F54 10.00m	
	600gm	F55 18.00m	F54 16.00m	
	600gm	F56 20.50m	F56 18.00m	
F57/58	600gm	F57 18.25m	F57 16.00m	
	600gm	F58 22.00m	F58 19.50m	

男子

EVENT	CLASS	A標準	B標準	
100m	T11	11.95	12.30	
	T12	11.55	12.00	
	T13	11.40	11.80	
	T35	13.70	16.20	
	T36	13.00	13.65	
	T37	12.30	13.00	
	T38	12.25	13.50	
	T42	13.70	14.20	
	T44	11.75	13.40	
	T46	11.10	11.50	
	T52	18.50	21.00	
	T53	16.00	17.00	
	T54	15.00	16.00	
	200m	T11	24.65	25.00
T12		23.70	25.00	
T13		23.40	23.90	
T35		28.95	32.50	
T36		26.40	27.60	
T37		25.25	26.10	
T38		24.35	26.00	
T42		28.00	31.30	
T44		23.90	26.10	
T46		22.40	23.50	
T51		46.00	50.00	
T52		33.00	36.00	
T53		28.00	29.50	
T54		26.50	28.00	
400m	T11	54.40	57.50	
	T12	52.00	56.10	
	T13	52.30	53.70	
	T36	1:00.10	1:06.40	
	T37	55.45	1:01.80	
	T38	55.30	59.40	
	T44	54.80	1:03.90	
	T46	50.10	53.30	
	T51	1:30.00	1:35.00	
	T52	1:05.00	1:10.00	
	T53	53.00	55.00	
	T54	49.50	52.00	
	800m	T12	2:03.00	2:09.00
		T13	2:00.00	2:09.00
T37		2:18.40	2:40.00	
T38		2:09.90	2:30.00	
T46		1:57.30	2:10.00	
T51		3:00.00	3:15.00	
T52		2:15.00	2:25.00	
T53		1:43.00	1:48.50	
T54	1:40.00	1:43.00		
1500m	T11	4:25.00	4:40.00	
	T12	4:12.00	4:25.00	
	T13	4:12.00	4:25.00	
	T36	4:52.30	6:04.10	
	T37	4:32.30	4:58.55	
	T46	4:46.00	4:20.00	
	T52	4:25.00	4:50.00	
T54	3:30.00	3:10.00		
5000m	T11	16:50.00	17:30.00	
	T12	16:12.00	17:30.00	
	T13	15:45.00	17:00.00	
	T37	18:02.50	19:45.00	
	T46	15:40.00	16:40.00	
	T52	14:30.00	16:00.00	
	T54	10:25.00	10:45.00	
10000m	T11	36:00.00	37:30.00	
	T13	33:00.00	36:20.00	
	T54	21:30.00	22:00.00	
マラソン	T11		3:40:00	
	T13		3:20:00	
	T51		3:00:00	
	T52		2:30:00	
	T54		1:45:00	

女子

EVENT	CLASS	A標準	B標準
100m	T11	14.70	15.50
	T12	13.80	14.50
	T13	13.30	14.20
	T34	21.75	23.00
	T36	15.85	17.20
	T37	14.60	16.45
	T44	14.20	15.00
	T52	22.20	25.00
	T53	19.00	21.30
	T54	17.50	19.00
	200m	T11	30.00
T12		28.00	29.50
T13		23.40	23.90
T34		38.90	43.50
T36		33.85	38.00
T37		30.95	33.90
T44		29.40	35.90
T52	44.00	50.00	
T54	32.00	34.00	
400m	T12	1:03.50	1:05.50
	T13	1:08.00	1:16.00
	T38	1:07.05	1:22.00
	T46	1:00.70	1:07.00
	T52	1:30.00	1:40.00
	T53	1:05.00	1:10.00
	T54	1:01.00	1:05.00
800m	T12	2:32.00	2:40.00
	T46	2:22.80	2:43.00
	T53	2:10.00	2:16.00
	T54	1:57.00	2:05.00
1500m	T12	5:15.00	5:35.00
	T54	3:46.00	3:55.00
5000m	T54	13:28.00	14:00.00
10000m	T11	36:00.00	37:30.00
	T13	33:00.00	36:20.00
	T54	21:30.00	22:00.00
マラソン	T54		2:15:00

『第7回関東身体障害者陸上競技選手権大会』記録一覧

場所：町田市立野津田公園陸上競技場

開催日：平成14年9月1日(日)

100m

男子 T11・P11

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
大沼 洋之	T11	関東身体障害者陸上競技協会	1	13 74	(-0.2)
今井 裕二	P11	兵庫県身体障害者陸上競技連盟	12	57	(-0.2)

男子 T12

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
矢野 繁樹	T12	関東身体障害者陸上競技協会	1	12 28	(-1.0)
高田 晃一	T12	埼玉県	2	12 67	(-1.0)
緒方 圭介	T12	筑波大学付属盲学校	3	12 69	(-1.0)

男子 T13

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
星野 直志	T13	東京都	1	12 38	(-2.2)

男子 T20

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
能隅 鎮宏	T20	ドリームロードアスリートクラブ	1	14 17	(-2.2)
島 和幸	T20	ドリームロードアスリートクラブ	2	14 81	(-2.2)

男子 T31

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
原田 安章	T31	関東身体障害者陸上競技協会		DNS	

男子 T32

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
廣瀬 隆喜	T32	千葉県	1	30 30	(-0.4)

男子 T33

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
山田 佳弘	T33	千葉トラッククラブ	1	24 55	(-0.4)

男子 T37

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
佐野 史和	T37	ドリームロードアスリートクラブ	1	15 78	(-1.2)

男子 T42

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
山本 篤	T42	名古屋ランナーズ	1	14 06	(-1.2)
高橋 将太	T42	ヘルスエンジェルス	2	20 57	(-1.2)
池田 良太	T42	関東身体障害者陸上競技協会	3	21 85	(-1.2)

男子 T44

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
金子 順治	T44	ヘルスエンジェルス	1	18 22	(-1.2)

男子 T52

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
小山 直樹	T52	SWRC	1	19 66	(-1.3)
八重沢 康成	T52	新潟県身障陸連	2	19 73	(-1.3)
千葉 雅昭	T52	関東身体障害者陸上競技協会	3	19 79	(-1.3)
福田 貴志	T52	関東身体障害者陸上競技協会	4	20 25	(-1.3)

男子 T53

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
天田 教行	T53	関東身体障害者陸上競技協会	1	16 61	(-0.2)
田中 政義	T53	川崎市	2	18 21	(-0.2)
岡部 誠	T53	山梨県	3	20 01	(-0.2)
稲葉 津佳	T53	ドリームロードアスリートクラブ	4	28 60	(-0.2)

女子 T33

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
渡辺 歩	T33	ドリームロードアスリートクラブ	1	31 98	(-3.6)

女子 T34

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
荒井 のり子	T34	千葉トラッククラブ	1	21 24	(-3.6)

女子 T36

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
加藤 有希	T36	関東身体障害者陸上競技協会	1	16 57	(-0.8)
葛西 睦	T36	千葉トラッククラブ	2	25 60	(-0.8)

女子 T52

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
栗田 美紀	T52	関東身体障害者陸上競技協会	1	23 97	(-3.6)

女子 T54

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
緑川 まり子	T54	東京都	1	22 65	(-3.6)

200m

男子 T13

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
星野 直志	T13	東京都	1	27 49	(+ - 0)

男子 T20

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
島 和幸	T20	ドリームロードアスリートクラブ	1	30 73	(+ - 0)

男子 T38

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
千葉 卓哉	T38	東京都	1	30 70	(+ - 0)

男子 T44

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
金子 順治	T44	ヘルスエンジェルス	1	27 96	(+ - 0)

男子 T52

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
千葉 雅昭	T52	関東身体障害者陸上競技協会	1	36 04	(+ - 0)
八重沢 康成	T52	新潟県身障陸連	2	36 73	(+ - 0)
福田 貴志	T52	関東身体障害者陸上競技協会	3	36 90	(+ - 0)
佐藤 智寛	T52	関東身体障害者陸上競技協会	4	43 17	(+ - 0)

男子 T53

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
天田 教行	T53	関東身体障害者陸上競技協会	1	31 41	(-0.7)
田中 政義	T53	川崎市	2	33 13	(-0.7)

男子 T54

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
山口 充弘	T54	神奈川県	1	30 74	(-0.7)

女子 T34

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
荒井 のり子	T34	千葉トラッククラブ	1	35 68	(-3.0)

女子 T36

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
葛西 睦	T36	千葉トラッククラブ	1	1 02 20	(+ - 0)

女子 T52

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
栗田 美紀	T52	関東身体障害者陸上競技協会	1	39 56	(-3.0)

女子 T54

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
緑川 まり子	T54	東京都	1	36 65	(-3.0)

400m

男子 T34

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
前場 一也	T34	山梨AC	1	56 98	

男子 T52

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
渡辺 康弘	T52	埼玉県		DNS	

男子 T53

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
松永 仁志	T53	岡山車椅子マラソンクラブ	1	56 52	
寒川 進	T53	京都TFC	2	57 82	
関口 武志	T53	さいたま市	3	1 30 49	

男子 T54

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
山口 充弘	T54	神奈川県	1	56 22	
和智 浩	T54	山梨AC	2	1 06 49	
松野 孝男	T54	千葉市		DNS	

女子 T36

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
加藤 有希	T36	関東身体障害者陸上競技協会	1	1 33 93	

女子 T54

氏名	グループ	所属	順位	記録	風力
長澤 麻子	T54	山梨県	1	1 08 08	

800m

男子 T11

氏名	グループ	所属	順位	記録
柳川 春巳	T11	JBMA	1	2 28 97
関東 伸雄	T11	横浜市	2	2 32 37

男子 T12

氏名	グループ	所属	順位	記録
濱田 廣行	T12	アキレスTCJ	1	2 47 53

男子 T36

氏名	グループ	所属	順位	記録
吉添 浩之	T36	ドリームロードアスリートクラブ	1	4 28 79

男子 T52

氏名	グループ	所属	順位	記録
渡辺 康弘	T52	埼玉県		D N S

男子 T53

氏名	グループ	所属	順位	記録
寒川 進	T53	京都TFC	1	1 54 66
岡部 誠	T53	山梨県	2	2 26 17

男子 T54

氏名	グループ	所属	順位	記録
西原 宏明	T54	京都TFC	1	1 44 17
小堀木 晶	T54	マウントフジレーシングチーム	2	2 15 29
和智 浩	T54	山梨AC	3	2 15 40
松野 孝男	T54	千葉県		D N S

女子 T54

氏名	グループ	所属	順位	記録
土田 和歌子	T54	SHI	1	2 00 94

1500m

男子 T11・P11

氏名	グループ	所属	順位	記録
大沼 洋之	T11	関東身体障害者陸上競技協会	1	5 33 22
柳川 春巳	T11	JBMA		D N S
今井 裕二	P11	兵庫県身体障害者陸上競技連盟	5	49 29

男子 T34

氏名	グループ	所属	順位	記録
前場 一也	T34	山梨AC	1	3 40 28

男子 T52

氏名	グループ	所属	順位	記録
小山 直樹	T52	SWRC	1	4 40 03
櫻井 徹男	T52	関東身体障害者陸上競技協会	2	4 46 13
佐藤 智寛	T52	関東身体障害者陸上競技協会	3	5 09 07

男子 T53/54

氏名	グループ	所属	順位	記録
渡辺 幹司	T53/54	別府リハビリテーションセンター	1	3 16 73
笹原 廣喜	T53/54	別府リハビリテーションセンター	2	3 18 07
西原 宏明	T53/54	京都TFC	3	3 20 81
松永 仁志	T53/54	岡山車椅子マラソンクラブ	4	3 25 70
渡辺 敏貴	T53/54	東京都	5	3 40 55
山本 哲雄	T53/54	茨城WRC	6	3 43 86
斉藤 実	T53/54	埼玉県	7	3 44 22
須藤 健一	T53/54	千葉県	8	3 44 96
草野 衛	T53/54	川崎市	9	3 51 51
豊田 正則	T53/54	埼玉県	10	4 11 20
川名 晃夫	T53/54	茨城WRC	11	4 28 28
河野 正彦	T53/54	埼玉車椅子レーシングクラブ	12	5 04 14
関口 武志	T53/54	さいたま市	13	5 13 03

女子 T54

氏名	グループ	所属	順位	記録
長澤 麻子	T54	山梨県	1	4 27 84

5000m

男子 T11

氏名	グループ	所属	順位	記録
吉原 学	T11	横浜市	1	26 40 22
鈴木 宏泰	T11	八走会	2	27 27 40

男子 T52

氏名	グループ	所属	順位	記録
櫻井 徹男	T52	関東身体障害者陸上競技協会	1	16 51 33

男子 T53/54

氏名	グループ	所属	順位	記録
渡辺 幹司	T53/54	別府リハビリテーションセンター	1	12 03 78
渡辺 敏貴	T53/54	東京都	2	12 19 55
山本 哲雄	T53/54	茨城WRC	3	12 19 87
斉藤 実	T53/54	埼玉県	4	13 23 12
小堀木 晶	T53/54	マウントフジレーシングチーム	5	13 45 17
須藤 健一	T53/54	千葉県	6	14 06 54
豊田 正則	T53/54	埼玉県	7	14 16 33
川名 晃夫	T53/54	茨城WRC	8	15 25 05

女子 T12

氏名	グループ	所属	順位	記録
安部 直美	T12	東京都	1	20 45 84

女子 T54

氏名	グループ	所属	順位	記録
土田 和歌子	T54	SHI	1	12 19 68

10000m

男子 T11

氏名	グループ	所属	順位	記録
八木 隆平	T11	関東身体障害者陸上競技協会	1	42 59 25
鈴木 宏泰	T11	八走会		D N S

男子 T12

氏名	グループ	所属	順位	記録
高橋 勇市	T12	アトミクラブ	1	39 13 41

走幅跳

男子 F11・P11

氏名	グループ	所属	順位	記録
内田 勝久	F11	関東身体障害者陸上競技協会		D N S
今井 裕二	P11	兵庫県身体障害者陸上競技連盟		5m63

男子 F12

氏名	グループ	所属	順位	記録
高田 晃一	F12	埼玉県	1	5m58

男子 F38

氏名	グループ	所属	順位	記録
千葉 卓哉	F38	東京都	1	4m39

三段跳

男子 F11

氏名	グループ	所属	順位	記録
内田 勝久	F11	関東身体障害者陸上競技協会	1	9m68

男子 F12

氏名	グループ	所属	順位	記録
白井 崇陽	F12	東京都	1	11m43

走高跳

男子 F42

氏名	グループ	所属	順位	記録
池田 良太	F42	関東身体障害者陸上競技協会	1	1m20

円盤投

男子 F42

氏名	グループ	所属	順位	記録
今井 裕二	P11	兵庫県身体障害者陸上競技連盟		14m61

男子 F12

氏名	グループ	所属	順位	記録
大勢待 茂男	F12	フィジカルチャンプス		D N S

男子 F20

氏名	グループ	所属	順位	記録
水本 義雄	F20	ドリームロードアスリートクラブ	1	16m63

男子 F36

氏名	グループ	所属	順位	記録
堀田 幹夫	F36	石川県		D N S

女子 F35

氏名	グループ	所属	順位	記録
吉田 真理子	F35	関東身体障害者陸上競技協会	1	10m27

女子 F36

氏名	グループ	所属	順位	記録
藤田 真理子	F36	道楽夢感OSAKA	1	18m51

女子 F37

氏名	グループ	所属	順位	記録
上村 明子	F37	千葉県	1	10m65

砲丸投

男子	F20	氏名	グループ	所属	順位	記録
		水本 義雄	F20	ドリームロードアスリートクラブ	1	7m46
男子	F32	氏名	グループ	所属	順位	記録
		植田 剛史	F32	ドリームロードアスリートクラブ	1	3m32
男子	F35	氏名	グループ	所属	順位	記録
		谷川 豪	F35	道楽夢感OSAKA		D N S
男子	F42	氏名	グループ	所属	順位	記録
		59 長田 信久	F42	山梨県		D N S
男子	F43	氏名	グループ	所属	順位	記録
		41 杉保 康之	F43	ドリームロードアスリートクラブ	1	3m46
男子	F54	氏名	グループ	所属	順位	記録
		37 稲葉 津佳	F54	ドリームロードアスリートクラブ	1	3m87
女子	F32	氏名	グループ	所属	順位	記録
		16 佐藤 京子	F32	関東身体障害者陸上競技協会	1	4m53
女子	F36	氏名	グループ	所属	順位	記録
		36 藤田 真理子	F36	道楽夢感OSAKA	1	6m56
		13 加治 桂子	F36	関東身体障害者陸上競技協会	2	2m95

やり投

男子	P 11	氏名	グループ	所属	順位	記録
		今井 裕二	P11	兵庫県身体障害者陸上競技連盟		8m36
男子	F12	氏名	グループ	所属	順位	記録
		大鷲待 茂男	F12	フィジカルチャンプス	1	39m41
男子	F20	氏名	グループ	所属	順位	記録
		能隅 鎮宏	F20	ドリームロードアスリートクラブ	1	30m05
男子	F35	氏名	グループ	所属	順位	記録
		河野 和輝	F35	川崎市	1	29m17
		谷川 豪	F35	道楽夢感OSAKA	2	22m61
男子	F37	氏名	グループ	所属	順位	記録
		安部 裕二	F37	千葉トラッククラブ	1	24m97
男子	F42	氏名	グループ	所属	順位	記録
		長田 信久	F42	山梨県		D N S
女子	F35	氏名	グループ	所属	順位	記録
		吉田 真理子	F35	関東身体障害者陸上競技協会	1	11m83
女子	F37	氏名	グループ	所属	順位	記録
		上村 明子	F37	千葉県	1	10m06

こん棒投

男子	F32	氏名	グループ	所属	順位	記録
		廣瀬 隆喜	F32	千葉県	1	15m28
		植田 剛史	F32	ドリームロードアスリートクラブ	2	14m77
		中野 嘉之	F32	東京都	3	10m05
女子	F32	氏名	グループ	所属	順位	記録
		佐藤 京子	F32	関東身体障害者陸上競技協会	1	20m89
女子	F36	氏名	グループ	所属	順位	記録
		加治 桂子	F36	関東身体障害者陸上競技協会	1	11m35

ペントスロン

男子	P 11	氏名	グループ	所属
		今井 裕二	P11	兵庫県身体障害者陸上競技協会

競技開始	種目	記録	得点
10:00	円盤投	14m61	173
11:30	100m	12 57 (- 0.2)	543
13:00	1500m	5 49 29	309
14:00	やり投	8m36	14
15:00	走幅跳	5m63 (+-0)	508
		合計得点	1547 (参考記録)

* 正規の種目順と異なるので、参考記録とする。

ハーフマラソンの部

中学生男子

順位	氏名	所属	年	性	タイム
1位	針貝 祥太	茨城県	15	男	1° 13 18

高校生男子

順位	氏名	所属	年	性	タイム
1位	白須 優也	京都府	17	男	55 52
2位	千代田 健司	埼玉県	18	男	1° 19 03
3位	萩原 裕樹	東京都	18	男	1° 55 39

高校生以上男子

順位	氏名	所属	年	性	タイム
1位	花岡 伸和	大分県	26	男	48 45
2位	辰巳 晃一	愛知県	38	男	53 32
3位	渡辺 敏貴	東京都	35	男	56 12
4位	橋爪 淳	神奈川県	40	男	1° 00 35
5位	前場 一也	山梨県	33	男	1° 00 49
6位	須藤 健一	千葉県	32	男	1° 01 16
7位	斉藤 実	埼玉県	51	男	1° 01 33
8位	高田 稔浩	福井県	37	男	1° 04 00
9位	齋藤 信広	東京都	30	男	1° 04 26
10位	岩田 昇	愛知県	54	男	1° 04 48
11位	小嶋 俊則	愛知県	53	男	1° 05 25
12位	服部 保作	静岡県	53	男	1° 07 16
13位	小山 直樹	埼玉県	21	男	1° 07 40
14位	和智 浩	山梨県	37	男	1° 07 41
15位	下平 広視	長野県	42	男	1° 08 47
16位	川名 晃夫	茨城県	31	男	1° 09 14
17位	小棚木 晶	静岡県	30	男	1° 09 18
18位	佐藤 智寛	東京都	27	男	1° 11 13
19位	小林 宏	神奈川県	37	男	1° 12 44
20位	櫻井 徹男	東京都	47	男	1° 13 22
21位	尾澤 清二	埼玉県	29	男	1° 19 06
22位	市野 隆	静岡県	43	男	1° 20 26
23位	高橋 健一	東京都	19	男	1° 23 23
24位	大畑 栄一	茨城県	41	男	1° 25 02
25位	黒沢 明	東京都	38	男	1° 26 11
26位	松原 新	東京都	29	男	1° 28 23
27位	伊藤 俊一	千葉県	30	男	1° 38 08
28位	安斉 隆光	埼玉県	37	男	1° 40 56
29位	宮澤 智史	長野県	20	男	1° 45 11
30位	関口 武志	埼玉県	23	男	1° 53 43

高校生以上女子

1位	土田 和歌子	東京都	28	女	1° 00 47
2位	長澤 麻子	山梨県	23	女	1° 06 21
3位	緑川 まり子	東京都	38	女	1° 13 24
4位	竹下 いづみ	神奈川県	38	女	1° 17 56
5位	荒井 のり子	千葉県	29	女	1° 33 57

オープン男子

順位	氏名	所属	年	性	タイム
1位	吉川 博史	埼玉県	47	男	1° 19 03
2位	橋本 健太	東京都	21	男	1° 35 35

オープン女子

順位	氏名	所属	年	性	タイム
1位	川口 里奈	愛知県	25	女	1° 28 12

5 Kの部 (ゼッケン青)

小学生男子

順位	氏名	所属	年	性	タイム
1位	岩瀬 凌太	千葉県	9	男	31 17
2位	鈴木 朋樹	千葉県	8	男	39 16
3位	川上 観世	高知県	6	男	49 39
4位	乙黒 敦士	山梨県	12	男	52 34
5位	木津 石生	東京都	7	男	56 51
6位	渡辺 冠	神奈川県	10	男	1° 03 57
7位	祐川 翔	埼玉県	12	男	1° 15 23

小学生女子

順位	氏名	所属	年	性	タイム
1位	寺坂 美里	神奈川県	11	女	28 31
2位	松本 真樹	神奈川県	12	女	39 16

中学生男子

順位	氏名	所属	年	性	タイム
1位	魚返 利明	大分県	14	男	17 16
2位	中村 拓也	東京都	13	男	20 52
3位	高田 雄三	静岡県	14	男	21 14
4位	鈴木 竜一	埼玉県	14	男	23 48
5位	兼子 勝志	東京都	14	男	24 24
6位	田村 健太	埼玉県	15	男	40 56
7位	梅沢 拓司	東京都	15	男	43 23
8位	佐浦 雅貴	神奈川県	12	男	49 27
9位	朝田 裕也	山梨県	14	男	1° 12 38
10位	川野 啓地	神奈川県	14	男	1° 24 47

中学生女子

順位	氏名	所属	年	性	タイム
1位	関根 沙智	兵庫県	13	女	32 34
2位	宮地 めぐみ	神奈川県	14	女	41 47
3位	水島 菜穂	神奈川県	13	女	45 19
4位	増戸 梢	神奈川県	14	女	1° 05 23
5位	森 優衣	神奈川県	12	女	1° 57 05

高校生男子

順位	氏名	所属	年	性	タイム
1位	結城 周平	茨城県	16	男	17 17
2位	千座 北斗	神奈川県	16	男	28 52
3位	澤田 祭	千葉県	18	男	30 50
4位	藤野 直樹	千葉県	17	男	31 52
5位	志村 直紀	千葉県	16	男	32 35
6位	高浦 裕一郎	千葉県	17	男	41 23
7位	加藤 芳史	東京都	16	男	56 34
8位	澤井 雅樹	東京都	15	男	1° 03 47

高校生女子

順位	氏名	所属	年	性	タイム
1位	遠藤 玲子	埼玉県	17	女	34 52

高校生以上男子

順位	氏名	所属	年	性	タイム
1位	古谷 一臣	千葉県	31	男	23 45
2位	川口 幸治	千葉県	28	男	25 26
3位	山崎 剛司	埼玉県	21	男	28 34

高校生以上女子

順位	氏名	所属	年	性	タイム
1位	秋元 妙美	東京都	24	女	30 03

オープン男子

順位	氏名	所属	年	性	タイム
1位	飯星 龍一	千葉県	45	男	19 12
2位	小澤 徹	千葉県	33	男	19 12
3位	石井 勝之	千葉県	22	男	20 31
4位	長岐 祥朋	千葉県	30	男	23 19
5位	塩田 礼二	千葉県	34	男	23 28
6位	鈴木 健司	千葉県	22	男	24 08
7位	石橋 聖揚	千葉県	30	男	24 53
8位	在原 俊洋	千葉県	30	男	26 14
9位	布川 英之	埼玉県	30	男	26 17
10位	齋藤 保将	埼玉県	34	男	27 03
11位	結城 智之	千葉県	22	男	27 13
12位	岩澤 英喜	神奈川県	40	男	28 20
13位	浅輪 文典	埼玉県	24	男	29 23
14位	高橋 利幸	千葉県	40	男	29 39
15位	中村 裕哉	千葉県	23	男	30 39
16位	遠山 甲	埼玉県	35	男	31 08
17位	佐藤 貴洋	千葉県	35	男	32 28
18位	三宅 英俊	埼玉県	27	男	33 47
19位	真下 央	千葉県	30	男	34 36
20位	水野 建	埼玉県	23	男	35 12
21位	鳥 翼	東京都	18	男	35 23
22位	入江 修	千葉県	41	男	40 12
23位	類瀬 健二	東京都	25	男	42 25
24位	奥村 彰信	東京都	32	男	48 26
25位	杉林 寛仁	東京都	26	男	51 14
26位	横澤 博	東京都	39	男	52 08
27位	竹内 雅	東京都	22	男	52 32
28位	小林 伸行	神奈川県	50	男	1° 01 14
29位	長谷川 正吾	栃木県	23	男	1° 03 59

オープン女子

順位	氏名	所属	年	性	タイム
1位	松本 望美	東京都	19	女	24 32
2位	風間 美里	東京都	25	女	27 57
3位	中島 麻衣	東京都	19	女	33 22
4位	小林 彩子	埼玉県	27	女	35 17
5位	平峯 尊子	東京都	22	女	37 10
6位	中川 こずえ	埼玉県	30	女	41 40
7位	大石 京子	埼玉県	31	女	42 28
8位	古京 陽子	東京都	27	女	59 51

2.5K (ゼッケン黄)

小学生男子

順位	氏名	所属	年	性	タイム
1位	福田 将人	東京都	12	男	38 42
2位	渡辺 恵太	北海道	11	男	40 51
3位	小西 昇	神奈川	8	男	1° 42 28

小学生女子

順位	氏名	所属	年	性	タイム
1位	兼子 未希	東京都	8	女	31 52
2位	大谷 野の子	東京都	7	女	33 47
3位	木村 菜摘	神奈川	11	女	1° 35 21

中学生男子

順位	氏名	所属	年	性	タイム
1位	橋本 雄斗	東京都	13	男	31 45

中学生女子

順位	氏名	所属	年	性	タイム
1位	宇治川 琴美	東京都	14	女	41 54
2位	高瀬 陽子	埼玉県	12	女	48 10
3位	宇治川 聡美	東京都	14	女	1° 06 57

高校生男子

順位	氏名	所属	年	性	タイム
1位	小林 靖幸	埼玉県	16	男	26 16
2位	中村 啓志	神奈川	16	男	31 30
3位	羽鳥 勝信	神奈川	17	男	36 02

高校生以上男子

順位	氏名	所属	年	性	タイム
1位	中野 嘉之	東京都	27	男	57 59
2位	黒沼 明彦	埼玉県	24	男	1° 06 29

* 編集後記 *

今年はいよいよアテネ選考の年です。今年のジャパラは東京で開催される予定ですし、もちろん関東選手権や東京車いすマラソンも開催されます。体調に気を付けてしっかりトレーニングし、皆さんで盛り上げていきましょう。(すぎ)

関東身体障害者陸上競技協会 HP

<http://kaaad.com/>